

せいわにし 学校だより

2025（令和7）年7月7日（月）

伊賀市立成和西小学校 No. 11

伊賀市大内624番地

<http://www.iga.ed.jp/seiwanishi-e/>

～ プール開き！～

6月25日（水）、プール開きをしました。準備体操とシャワーの後、プール水泳の約束（プールサイドは走らない、悪ふざけをしない、バディーでの安全確認、入水の仕方など）について、話を聞きました。

次にプールに入り、「水中歩き」と「宝ひろい」をしました。「水中歩き」では、プールの中でフラフープをくぐりながら、歩いたり、泳いだりしました。「宝ひろい」では、水中にもぐって、宝物探しをしました。



～ 2年生校外学習 ～

7月1日（火）、2年生が校外学習で花垣地区市民センターと花垣神社に出かけました。

はじめに花垣地区市民センターでは、センター長の勝島さんから市民センターの役割や、どんな仕事をしているのか、花垣地区のいいところなどを話してもらいました。また、「平和について考える集会」で見せてもらった青い目の人形エリザベス・ハイネさんと「再会」しました。

次に花垣神社では、総代長の勝島さんから、花垣神社の歴史や神社の祭りが人々の暮らしと深く関わってきたことなどを聞きました。花垣神社は、千年以上前からあり、芭蕉さんの句碑もあることがわかりました。自分たちが住む地域のことを知り、さらに好きになってほしいと思います。



～ 5年生「環境保全、米作り」聞き取り学習～

7月1日(火)、大野木環境保全会の上田 泰久さんに来ていただき、5年生が聞き取りをしました。
環境保全会の活動や米作りについて教えてもらいました。キャリア学習にもつながる大切なお話でした。

【上田さんのお話】

①環境保全活動について

- ・地域を守り、だれもが住みやすい環境にしたいと思った。
- ・知恵を出し合い、力を合わせると大きな仕事ができる。
- ・みんなで協力して地域の環境をよくしていくために保全会を結成した。
- ・地域の環境を良くするために、道路のそばのプランターに花を植え、水路や農道、ため池の補修工事などを行っている。また、保育園や小学校と一緒に米や野菜作り、さつまいもを育てている。
- ・米作りをすることで、田に住む生き物を育てる。大雨や台風のときに田に水をためて洪水を防ぐ。

②米作りについて

- ・稲は植えただけでは育たない。稲が元気をなくさないように毎日心をこめて世話をしている。
- ・それぞれの田の条件にあった米作りが大事(土、日当たり、水はけなど)
- ・稲を毎日観察すると、稲の「思い」が伝わってくる。稲の気持ちを考えている。(おなかがすいた→肥料をやる、水が多すぎて苦しう→田の水を抜く...)日々の積み重ねが、いい稲を作る。
- ・失敗を繰り返して、いい米作り、お米ができる。百点満点の米に近づけるために、みんなが「おいしい。」と言ってくれる米をつくるために、次にどれだけがんばれるか、努力の積み重ねが大事である。

③5年生に願うこと

- ・「失敗」は、とても大事なこと。失敗することで自分が大きく成長できる、次のことを考えられる。
- その積み重ねが、その人の土台になる。たとえ失敗しても、あきらめないでほしい。
- ・メロンの木が、しゃきっとしていると、自分もしゃきっとしようと思う。メロンの木に教えてもらっている。
- ・みんなで話をすると広がりが出てくる。5年生の仲間やつながりをこれからも、ずっと守ってほしい。



～薬の正しい使い方教室～

7月3日(木)、6年生で「薬の正しい使い方教室」をしました。保健学習の一環で、学校薬剤師の西前 克彦先生に来ていただき、「薬剤師の仕事」や「薬の正しい使い方」について、お話を聞きました。

薬剤師は、薬局や病院で医薬品を調剤し、患者さんとの相談や対応をします。また、学校薬剤師は、子どもたちが学校生活を安全で健康に過ごすため、水質検査や照度検査をします。

また、薬の飲み方には、時間や回数、量などのきまりがあること、病気(症状)によって飲む薬がちがうので、病院や薬局で相談することなどを学習しました。

最後に水道水を使った実験をしました。水道水に試薬を入れるとピンク色に変化し(不純物が混じっていない)、呼気を含んだ水道水に試薬を入れると黄緑色に変化しました。(不純物が混じっている)

